1．電源を入れる。

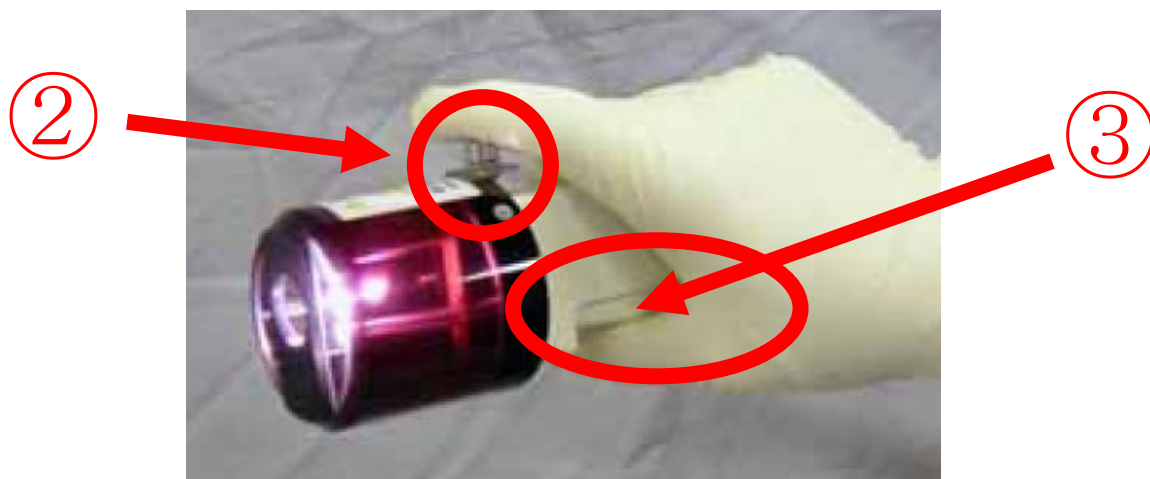
１−１．「電源ボックス」の「POWER スイッチ」①を ON にします。

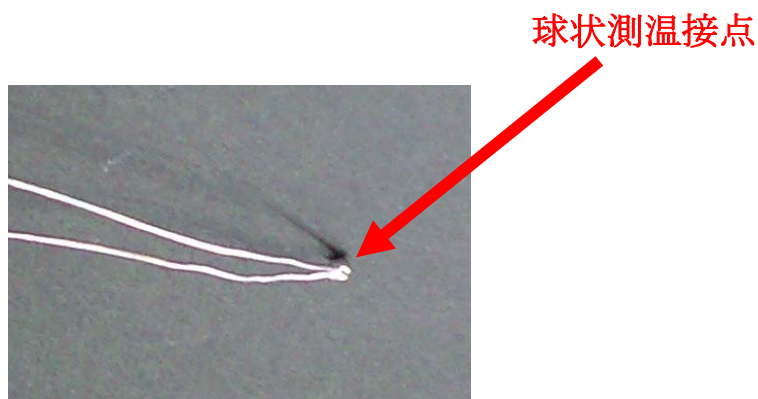
2．アーク放電を発生させる。

２−１．「ハンドウェルダー遮光筒付き」の「トリガスイッチ」②を押しながら「ギャップ調整レバー」③を押し込みます。

２-２．溶接用電極棒を接触させた後、わずかに離すと連続的なアーク放電が発生します。

3. アーク弧長を調節する。

3−1.「トリガスイッチ」 ② を押したまま「ギャップ調整レバー」③により溶接用電極棒の間隔を変え、アーク弧長を調節します。

4. 熱電対を作製する。

4−1. アーク弧内に熱電対素線④を挿入すると溶融し球状の測温接点が作製できます。

【ご使用にあたっての注意点】

・φ0.1ｍｍ～φ0.6ｍｍの熱電対素線の測温接点製作用です。

・被溶接材料が良導体である場合には、電極部に触れると感電する危険があります。

・被溶接材料が絶縁被覆されていることを確実にすると共に、保護具（絶縁手袋、保護メガネ）を着用してください。

・思わぬ漏電により感電する危険があります。確実にアースをとってください。